

## 2021年度事業及び活動報告

法人の名称 特定非営利活動法人たすけあい多摩

### 1. 事業活動の報告と成果

#### コロナ感染症対策

6月、7月ワクチン接種を「登戸プライマリークリニック」の訪問医の協力を得て、ヘルパーのほぼ全員終了することができました。利用者も、大部分がワクチン接種を終了していたので、稼働を控えるような対応は必要ないと判断しました。

ヘルパーのコロナ慣れに対して、気を引き締めて基本的対策をしっかりと行なうよう、メール等で呼びかけました。

1月には、感染力の非常に強い変異株オミクロン株が出現したため、ヘルパーやヘルパーの家族が感染してしまった場合の対応について、発症までの日数、自宅待機の日数などコロナウイルスの特徴をふまえ、具体的な基準を作成しました。

2/10抗原検査をヘルパー全員に実施し、陰性を確認しました。

3/11からは日本財団による無料のPCR検査を定期的実施することとしました。

自宅待機となったヘルパーの代りを調整する作業は、サ責の負担を重くするものでしたが、これまで通りの稼働を続けるよう努力しました。利用者にも代替りのヘルパーの訪問もあることを了承していただくようお知らせを配布しました。

事務所に空気清浄機を導入し、対面する場所には飛沫防止パーテーションを設置して、感染症にも対応した設備を整えました。

#### 事業実績

事業収益を見てみると、自主で336万円（昨年比108%）、訪問で3537万円（昨年比99%）、障害で184万円（昨年比109%）と昨年度とほぼ変わらない収入を得ることができました。

今年度の特徴として、介護度の高い高齢者で自宅で頑張る方が多くなり、毎日朝夕のサービスを複数ヘルパーで担当する例が増えてきました。この場合、ヘルパーによって対応が異なるよう、情報共有が大切になってきます。『LINE』を使っての共通理解と情報共有が有効に機能し、信頼につながりました。

自主事業では、自主ならではの外出支援があり、ここでのサービス内容とノウハウは大切な財産となりました。

#### 研修

7～9月 第1回内部研修「法令遵守・接遇・プライバシーの保護」は、集まって研修会を開くことができないため、問題文に答えるというやり方で実施しました。実際に起こりそうな場面を想定してのQ&Aは、“自分だったらどうするか”と考えさせられ、理解を深めることになりました。

12月 第2回内部研修「認知症への理解を深める」は、感染者が下火になった時期であったため、集まっての研修ができました。

## ボランティア活動

11月わくわく茶話会の会場としている飯室会館が使用できないため、時季を見て生田緑地で、会食会を実施しました。

## 課題解決

- 1) 自主事業の入会金の名称を登録料と改め、金額を5,000円から1,000円に変更しました。年会費に関してはそのまま使用することにしました。(NPO法人に合った名称で、事務に係る費用、会を維持していくための資金として使う)
- 2) 処遇改善加算取得に伴い、整備しなければならなかった昇給制度(常勤)について検討を重ね、結論を出すことができました。
- 3) 小さな事故をきっかけに、ヘルパー保険の内容を見直し、より広範囲にカバーできるものへ切り換えました。
- 4) ヘルパー募集のための看板を有志で作成し、事務所正面に掲示しました。ホームページにもヘルパー募集の記事を掲載しました。
- 5) PCの交換、プリンターの交換し当面支障なく運営できるようにしました。

いつ終わるとも知れないコロナとの闘いに加え、2月に入ってロシアのウクライナ武力侵攻という信じられない事態も起こり、2021年は波乱の年度となりました。その中で、今まで当たり前のように享受していた“なにげない日常”が、いかにもろくあやういものであるかに気づくと同時に、それがどれほど大切なものであるかを再認識させられました。

私たちの仕事は、このもろく大切な日常を支えるものであること、病によって、あるいは事故によって奪われた日常を取りもどす手助けをする大切な仕事と言えます。“相手の心に寄り添い支える”この見えない仕事こそ大切です。コロナ感染症への対応からより厳しくなった稼働に、献身的に立ち向かっていくスタッフの姿に、すばらしい人間愛を感じます。これこそがたすけあい多摩の誇りであり、これからも会員の皆さんと一緒に大切に守っていきたいと思います。

## 2. 事業活動内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ①家事援助及び介護援助に関する事業

##### 自主に関する事業

- ・内 容 介護保険事業外の高齢者及び一般家庭への家事一般・保育等に対し、ヘルパーを派遣
- ・日 時 2021年4月1日～2022年3月31日
- ・場 所 川崎市多摩区とその近隣
- ・従 事 者 ヘルパー延べ人数 200名
- ・対 象 者 利用者 延べ人数 324名  
(利用者：入会8名 退会6名 現在45名)
- ・稼働時間 年間 1,800時間
- ・事業費支出額 3,583,873円

#### ②訪問介護及び介護予防訪問介護及び第1号訪問事業に関する事業

- ・内 容 訪問介護・介護予防訪問介護及び第1号訪問事業によるヘルパー派遣
- ・日 時 2021年4月1日～2022年3月31日
- ・場 所 川崎市多摩区内
- ・従 事 者 ヘルパー延べ人数 386名
- ・対 象 者 利用者 延べ人数 1,208名
- ・時 間 数 年間 9,627時間
- ・事業費支出額 31,588,903円

#### ③障害福祉サービスに関する事業

- ・内 容 居宅介護によるヘルパー派遣事業
- ・日 時 2021年4月1日～2022年3月31日
- ・場 所 川崎市多摩区内
- ・従 事 者 ヘルパー延べ人数 141名
- ・対 象 者 利用者 延べ人数 65名
- ・時 間 数 年間 845.5時間
- ・事業費支出額 1,680,196円

④この法人が行う事業に関する相談・研修・啓発に関する活動

(内部研修報告)

| 実施日   | 内容                                     | 講師             | 出席者(名) |
|-------|--|----------------|--------|
| 7月～9月 | 法令遵守・接遇・<br>プライバシーの保護<br>(資料配布・Q&A・質問) | 研修担当<br>正副理事長  | 36     |
| 12/4  | 法令遵守・接遇・実技<br>(車いすの移動と移乗)              | 大下瑠子氏<br>渡部純子氏 | 22     |
| 合計    | 研修2回開催                                 |                | 58     |

(外部研修報告)

今年度もコロナ禍のため連絡会としての活動は自粛しました

【ボランティア活動】

新型コロナウイルス感染の広がりにより、「多摩川の里」への出入りが制限された為、残念ながら実施することができませんでした。

⑤独居高齢者支援に関する活動(飯室会館わくわく茶話会・ミニデイ津野田)

高齢者に外出する機会を作り、地域のふれあいの場として歓談・昼食・レクリエーションなどをして有意義な時間を共有しました

【飯室会館わくわく茶話会】

活 動 3回 9月 利用者宅訪問、敬老の日お祝いプレゼント贈  
11月 会食会開催  
12月 手紙と写真送付  
(他の月は新型コロナウイルス感染症予防のため中止)

会 場 生田緑地広場

利用者延べ人数 49名

ボランティア延べ人数 16名

活動費支出額 91,000円(川崎市よりの助成金)

【ミニデイ津野田】

今年度は休止しました